

[通常機体] リ A 「機動戦士ガンダム」

リック・ドム II

機体名	リック・ドム II	画像
型式番号	MS-09R-2MS-09R2MS-R09II	
英語名	RICK-DOM ZWEI	
所属	ジオン公国軍デラズフリート	
パイロット	カリウス他	
装甲材質		
装備	ヒートサーベルシュトルムファウストジャイアントバズ	
作品名	機動戦士ガンダム 0080 ポケットの中の戦争 機動戦士ガンダム 0083 STARDUST MEMORY	
参考書籍	G ジェネレーション F ガンダムメカニクス	

内容

G ジェネレーション F

ジオン公国軍の宇宙用量産型 MS。

「MS 統合整備計画」にのっとり改修された第二期生産型のリック・ドムである。

ジェネレーターやスラスターの改良、アポジモーターの増設などが行われ、機動性を中心にして全般的に性能が向上している。

また腹部のビーム砲も改良され、攻撃兵器としての使用が可能になった。

しかし量産開始が大戦末期であったため生産数は少なく、一部の機体がア・バオア・クー防衛戦などに投入されたに止まっている。

「デラズ紛争」の際には、デラズ・フリートの戦力として、数機が戦闘に参加している。

ガンダムメカニクス

熱核ジェットホバーによる高速移動という新しいコンセプトで、地上の局地戦用 MS として成功を収めた「MS-09 ドム」。

ジオン軍は MS-09 のトータルバランスの高さに目を付け、熱核ジェットエンジンを熱核ロケットエンジンに換装することにより、宇宙戦用の「MS-09R リックドム」を産み出した。

この「MS-09R」が予想以上の戦果を上げたため、ジオン軍は MS-09R のさらなる性能の向上を目指して大幅な改良を行った。

この改良は、他機種とのパーツの共用や生産性の向上を目的とした、MS 生産改良プラン「統合整備計画」にのっとり行われた。

R II 型にはジェネレーター、スラスターのチューンナップおよび姿勢制御バーニアの増設による機動性の向上や、プロペラントタンクの装備による行動時間の延長などといった改良がなされている。

しかし、生産が戦争末期だったため実戦参加した機体は少ない。

備考

スペック

項目	内容
頭頂高	18.6 m
全高	18.6 m
本体重量	45.6 t
全備重量	79.9 t
ジェネレーター出力	1219 kw
スラスタ総推力	110000 kg
アポジモーター数	
センサー有効半径	5400 m